



2年生 修学旅行 in Tokyo

東京研修 ... 以下の研修場所以外にも上野公園、東京スカイツリー、明治神宮、夢の島熱帯植物館、都立第五福丸展示館、国立新美術館、国会議事堂など東京の魅力を楽しみました。

浅草散策 ... 浅草寺や雷門など下町らしさを体感しました。



学年交流 ... 学舎間交流を通じて、学年の絆を深めました。

ディズニーシー ... 夢の国で思う存分楽しみました。

東京グルメ ... 月島もんじゃや横浜中華街で当地グルメを堪能しました。



修学旅行は、学びと成長、そして友情を深めるかけがえのない機会でした。東京の上野では、上野恩賜公園を散策し、東京国立博物館や国立西洋美術館で歴史的な文化財や貴重な遺物に触れ、日本の伝統文化への理解を深めました。また、浅草では浅草寺を訪れ、雷門をくぐり仲見世通りのにぎやかな雰囲気を楽しみながら、日本らしい風情とともに歴史の重みを感じました。さらに、スカイツリーを背景にした浅草の風景は、下町情緒あふれる東京と現代の東京の融合を実感させてくれました。クラス別研修では、クラスごとに異なるテーマに基づいた活動を通じて学びを深めました。一方、班別研修では少人数のグループで行動することで、友人との絆が深まりました。また、東京ディズニーシーでは、全員で夢のような時間を共有し、友人とともに特別な思い出を作ることができました。この修学旅行を通して得た学びや新しい発見、そして深まった友情は、皆さんの未来をより輝かせる大切な糧となります。一生の思い出とともに、この経験をこれからの学校生活に活かしていきましょう。

『自分らしい修学旅行を』と言って始まった青春の4ページ。この修学旅行は、学舎間交流やクラス別研修、班活動など様々な単位での活動があり、それぞれにとってオリジナルの非日常の思い出が詰まった4日間となりました。この修学旅行の成功は十人十色だったと思います。また、楽しかった記憶と共に得たものがたくさんありました。様々な人との対話を通して自分の得た“財産”をこれから出会う人達のために活かしてほしいです。それは修学旅行に行った意義の一つだと思います。」 修学旅行委員長 井笹 大己 (HR23)

部活動の活躍

京都府高等学校文化連盟賞 美術・工芸部門 書道部門 **ダブル受賞**



美術・工芸部門 美術部 赤西 真唯 (HR31)

「連盟賞を受賞することができて光栄に思います。また、今までで最も時間をかけ、楽しんで制作した作品で、このような賞をいただくことができとても嬉しいです。作品を制作する中で、思うように描くことができず何度か挫折そうになりましたが、美術部の部員や顧問の先生、家族、友人からの励ましやアドバイスのおかげで最後まで諦めずにやり切ることができました。」



書道部門 書道部 森下 彩咲 (HR33)

「今回は、このような賞を取ることができ、とても嬉しく思います。3年生になって最後に書いた作品が賞をいただき、より多くの人に見てもらえる機会を得られ、より思い入れのある作品になりました。そして、何より、3年間頑張ってきて良かったと思いました。この作品に関わってくださった方々への感謝を忘れず、これまでの書道部での活動をこれからも活かし、励んでいきたいと思っています。」

第49回 全国高等学校総合文化祭「かがわ総文祭 2025」 出品決定



写真部門 写真部 小田 優希 (HR21)

「これまで素晴らしい作品を出品されてきた先輩方の流れを受け継ぐ機会を与えてくださった先生や先輩方にはとても感謝しています。作品『インスピレーション』は、日常の中でふと心を動かす瞬間を捉えたいという思いで制作しました。私の作品を見てくださった方々に新たなインスピレーションを生む一助になれば幸いです。」



書道部門 書道部 毛呂 来柚 (HR21)

「今回、全総文に出品することができ、とても光栄に思います。このような結果が出せたのは日々細かく指導してくださった顧問の先生や一緒に乗り越えてきた仲間のおかげです。この機会を通じて多くの人と交流し、次の作品に活かせるよう勉強してきます。そして、憧れの先輩たちに近づけるようこれからも制作に励んでいきます。」

第10回 全国ユース環境活動発表大会近畿地方大会 「高校生が選ぶ特別賞」 第57回 京都府アンサンブルコンテスト 高等学校の部 **金賞**

※ 全国ユース環境活動発表大会全国大会 出場決定
フィールド探究部

真下 大護 (HR21) 西原 幸佑 (HR22) 北風 和未 (HR12)
小西 恵理香 (HR12) 家城 瑞葵 (HR13) 高田 円花 (HR13)



「大会には近畿地方から多くの高校の参加があり、どの発表も興味深い内容で、今後の活動に活かせるものでした。発表後には高校生同士の交流会を行い、発表に対しての感想を伝えあったり、質問をしたりと非常に充実した時間になりました。発表を通して、私たちの発表の趣旨である『川を未来に伝え、繋げる』ということ伝えることができました。今後も川を未来に繋げるため多くの人と関わり合い、活動の幅を広げていきたいです。」



吹奏楽部
小西 菜々花 (HR23)
長谷川 有香 (HR12)
塩田 睦人 (HR13)

「私たちは『雅〜3人のマリimba奏者のための』という曲を演奏しました。使うのはたった一台のマリimbaですが和太鼓や笛、拍子木などたくさんの楽器を表現できるようこだわりました。本番では普段にはない響きでより一層表現の幅が広がり、楽しく自信を持って演奏することができました。」



宮津天橋の部活動は全国大会をはじめ様々な大会で**大活躍!**

生徒会レポート

昨年11月から新生徒会が発足しました。各局を代表して局長が今後の抱負を述べます!



生徒会長 大江 誓平 (HR22)

「この学校を変えていく上で一人一人の生徒が互いに影響し合い学校全体で成長していけるようにしたいと思っています。誰かが先ず行動を起こさないといけないと思い、私は会長になりました。執行部から学校を変えていく力となり、そして生徒会を中心として宮津天橋をさらに良い学校に変えていきたいです。」



総務局長 吉田 隼 (HR23)

「挨拶運動や自転車施錠チェック等生徒の皆さんにとって日常生活の中で多く関わる事のある局です。私たちの代では今まで飛躍してきた宮津天橋のレベルをより洗練していく「積み重ね」を重視していきたいです。生徒の皆さんにはこの一年間自分を客観視して人間として成長して行って欲しいです。」



体育局長 田中 あすか (HR22)

「体育祭や球技大会の活動はもちろん、まだやったことがないことにも取り組んでいきたいです。体育祭をはじめとして、生徒全員が楽しめるような活動をしていきます。ご協力よろしくお願いします!」



文化局長 井密 大己 (HR23)

「文化局なので基本的には『文化祭』に関わることを主にやっていきます。特に自由発表の場を作れたらいいなと思います。新たな可能性を生み出せる場を創出できるよう挑戦していきますので応援よろしくをお願いします。」



書記局長 西村 菜々穂 (HR22)

「学校HPの更新、生徒会新聞の発行、宮通の生徒会コーナーなど、生徒だけでなく中学生や地域の皆さんにも宮津学舎の魅力を知ってもらえるように日々活動をしています。今年も生徒目線での宮津天橋をたくさん発信していきます!」



精一杯頑張ります!
宜しくお願いします!